

【資料 1】

太子町の下水道整備の歴史

太子町では昭和 53 年から、町内の浸水被害を未然に防止するため、雨水幹線の整備を進めてきましたが、昭和 63 年からは、生活排水（汚水）を対象とする下水道事業に着手しました。

下水道事業は、3 次に分けて面整備が進められ、1 次計画（斑鳩地区と石海地区の一部）は平成 2 年から平成 8 年、2 次計画（太田地区と石海地区の一部）は平成 9 年から平成 13 年、3 次計画（龍田地区と斑鳩・石海・太田地区の一部）は平成 14 年から平成 17 年で工事を行い、平成 18 年 3 月で町内のほぼ全域で面整備を終えました。

なお、平成 3 年 4 月より町内の一部（福地、老原、蓮常寺）で供用開始し、本町の水洗化がスタートしました。

■時系列

年月日	下水道のうごき
昭和 53 年 10 月	雨水幹線の整備に着手
昭和 54 年 7 月	太子前処理場の使用開始
昭和 63 年 6 月	揖保川浄化センター使用開始
昭和 63 年 10 月	汚水幹線工事の着手
平成 2 年 8 月	面整備工事（1 次計画）H2～H8 年 対象：斑鳩地区、石海地区の一部
平成 3 年 4 月	町内の一部で供用開始
平成 9 年 4 月	面整備工事（2 次計画）H9～H13 年 対象：太田地区、石海地区の一部
平成 14 年 4 月	面整備工事（3 次計画）H14～H17 年 対象：龍田地区、斑鳩・石海・太田地区の一部
平成 18 年 3 月	町内のほぼ全域で面整備の完了